

増毛山道 電子地図で「復活」

【増毛】国土地理院は本年度内にも、インターネット上に公開している電子地図「地理院地図」に、復元作業が進む増毛山道を掲載することを決めた。山道のルートは衛星利用測位システム(GPS)で得た情報を利用して確定し、その情報収集作業に地元増毛中1年生も協力。山道は10月に全区间が開通する見込みで、電子地図上でも往時の山道がよみがえる。

(堀雅晴)

国土地理院 年度内掲載へ

国土地理院北海道地方測量部によると、増毛山道は縮尺5万分の1の紙製地図では1919年(大正8年)から58年に刊行された地図に記載されていた。以降は



事前学習で岩田次長の話を聞く増毛中1年生。6月24日

GPSで情報収集 増毛中生も参加

て全区间(増毛町別対一石狩市浜益区幌、27キ)が開通する予定となり、「道が鮮明になり迷う心配もなくなる」と判断したため。同測量部によると、道内の山道のうち「地理院地図」には様似山道(様似町)と送毛山道(石狩市)、斜内山道(浜頓別町)が記載されている。増毛山道の掲載は当面、電子版のみだが紙製地図を将来的に改訂する際に掲載する可能性は高いという。

同測量部は緯度と経度、高度を測るGPS機器2台を増毛山道の会に貸与し、体験トレーニング参加者や同会メンバーのリユックなどに装着してデータを収集、測定情報をルート確定に生かす考えだ。

増毛中では1年生35人が今月30日、学年行事で別対側の循環林道南交点から岩尾までの約10キを歩く予定。同測量部の岩田昭雄次長(54)は6月下旬、増毛山道の会による事前学習の中で測量の仕方などを解説して協力を求めた。

岩田次長は「自分たちの足跡が地図に反映されるので喜んでもらえるのではないか。これを機に測量や地図にも興味をもってほしい」と期待する。学級委員長の長谷川日和さん(12)は「私たちが歩いた情報が地図になるなんてすごい」と楽しみにしている。